

# 幼保こ小 がつながる 架け橋だより

「架け橋期」は、小学校入学前の5歳児から小学校1年生までの2年間のこと。子どもの成長にとって、とても大切な時期です。

入学前  
特別号

## 入学までにどんなことをしておいたらいいですか？

学校の先生に  
聞いてみました！

保育・幼稚教育センターでは、架け橋プログラム事業の一環として市内全ての小学校・小中一貫校を訪問し、先生がたと意見交換を重ねています。その中で、「入学までにお子さんにぜひ経験してもらいたいこと」について、たくさんの方の声をいただきました。今回は、その内容をまとめてご紹介します。

### 「自分のもの」の確認を習慣にしよう

鉛筆が1本もない…  
朝は全部あったのに

ハンカチがない

消しゴムがない…

筆箱がからっぽ…

入学前から日頃の積み重ねが大切です。

- 「使った物は元の場所に戻す」「いつも同じ場所に物がある」ことを習慣に。
- 「子どもと一緒に持ちものを考える」「準備する」「自分のものは自分で持つ」といった経験を積み重ねていきましょう。

### 持ちものチェック



特に入学当初は保護者のかたも一緒にチェックしてあげましょう

必要な物がちゃんとそろってる。  
よかったです！



### お手伝い(いろいろやってみよう！)



学校ではこんなことをします

- プリントをたたむ
- そうじ(ほうきで掃く、ぞうきんを絞るなど)
- 給食(しゃもじやお玉を使う、お盆で運ぶなど)
- 体操服をたたむ など

そうじや給食当番など、1年生になって初めて経験することがたくさんあります。

学校で教えてもらいますが、家のお手伝いで経験していると、「それやったことある！」と思い出して自ら行動したり、「こうやつたらうまくいくかな」と工夫したりできるようになります。

「やつたことある」を増やしていきましょう。

### 気持ちのぶつかり合い

友達や親しい人のトラブルやけんかを経験することは、自分の気持ちを伝える、相手の気持ちを考える、など、社会性や思いやりを育む大切な機会です。

こうした力は、学校や大人になってからも必要とされるもの。園や学校、お子さんからご報告があった際は、成長のための貴重な経験をしている証です。



### その他にも…

- 保護者と一緒に学校まで歩いてみましょう。
- 日頃から交通ルールを伝えたり、自分で傘をさすこと等を経験しておくことも大切です。
- 生活の中でたくさんの経験をしてみましょう。  
例)買い物、花や野菜を育てる、虫の飼育 など



学校は楽しいところですよ！

「できるようにしておくことより、入学前にさまざまな経験をする、毎日の積み重ねを大切にする、ことが学習の土台となっていくのですね。